

## 中国・四川大地震パンダプロジェクト

2008年5月12日、中国・四川省をM8級の地震が襲いました。死者・行方不明者8万人以上、数百万人が避難生活を続ける大災害に対し、私たちは「忘れない、思いをはせる、気持ちを届ける」を合言葉に日本からの支援策を探ってきました。そこで生まれたのが「パンダタオル」です。見た目はかわいくとも、被災地と私たちをつなぐメッセンジャー。当通信は、パンダタオルをめぐる活動や被災地の状況をお伝えしながら、復興支援への協力を呼び掛けます。

## ～被災地は今～

### 第2回・廃墟の街、北川の子どもたち

「震くん」と出会った棚花村からさらに北上し、今回の大地震をもたらした断層帯の真上にある北川県を訪れた。人口約10万人の北川は震災直後に1万5000人以上が死亡、人口の半数近くが被災したとされている。特に中心市街地はほとんどの建物が壊滅したうえ、伝染病などが広まる恐れがあるため「封鎖」されているという。

町の入り口に差し掛かると、高さ3メートルはあろうかという巨大な「門」がそびえ立っていた。その脇では軍や警察関係者が厳しい目を光らせている。恐る恐る車を降りると、普段着姿の人たちが門の横の坂を上り下りしていた。後を追うように坂を上る。のんびり歩いているとまるでハイキングのようだが、右手には今にも落石がありそうな山肌、反対側には有刺鉄線の張られたバリケード。その隙間から、被災した街の様子が見渡せた。

まったくひと気のない、ゴースタウン。4階建て、5階建てのビルがぐちゃぐちゃに崩れている。あるものは土砂に流され、傾いたまま。まるで怪獣映画のセットのよう。だがこれは映画ではなく、四川の現実そのものなのだ。

ショックを受けたまま坂を下りると、門から少し離れた空き地で5、6人の子どもたちが走り回っていた。警官た



ちの目は行き届いていない。意を決して、そのうちの一人にパンダタオルを手渡してみようと近づいた。

最初の男の子は照れ隠しなのか、つっぱって受け取ってくれない。仕方なく隣の女の子に手渡すと、ぱっと笑顔がはじけた。

「僕たち日本から来たんだよ。これは君たちのことを心配している人からの贈り物だよ」。通訳のかたを介してそう話しかけると、「なんで日本から来たの?」「なんで僕たちのこと知ってるの?」と質問が返ってくる。とにかく不思議でたまらないといった様子だ。そうこうしているうち

に他の子どもたちが駆け寄ってきた。10個ほどのパンダタオルを入れた袋を地面に置くやいなや「僕も」「私も」と手が伸びる。そのうち奪い合いになって、泣き出す子まで出る始末。もう少し多めに持ってくるべきだったと反省つつ、このパンダタオルには日本からのメッセージも付いているんだよと説明すると、一斉に封を開いてメッセージカードを読んでもらった。夢中でカメラのシャッターを切っていたからそのときは分からなかったのだが、子どもたちの表情は驚くほど真剣だったり、うれしそうに微笑んでくれたりと、まさに十人十色だった。

しかし、この子たちはまぎれもなくあの「廃墟の街」の子どもたちなのだ。この街の行く末を、彼らはどれほど知っていて、どんなふうに思うのだろう。そこまでは聞けぬまま、笑顔で手を振って別れた。

(文・写真=レスキューストックヤード事務局・関口威人)

# パンダタオル 各地で生まれています！

☺パンダタオルの輪☺

☆思いよ、届け☆

12月13日	さん・さんまつり 届け！パンダタオル！ NPO 法人ふれあいサロンさんさんガーデン主催	さん・さんガーデン(愛知県一宮市)
17日	中国四川大地震プチ報告会 & パンダタオル体験横丁 浜松市(浜北区・天竜区)社会福祉協議会主催	浜北高齢者ふれあい福祉センター
1月10日	パンダタオル手作り教室in 西宮 日本災害救援ボランティアネットワーク(NVNAD)主催	西宮市役所東館(兵庫県)
11日	じしんってなあに？～遊びながら学ぼう、地震に役立つ「ワザ」～	愛知淑徳大星が丘キャンパス(名古屋市)



浜北高齢者ふれあい福祉センターでの参加者の皆さん

各地で「パンダづくりとても楽しかった」「かわいいのがつくれてうれしかった」などの感想をいただきました。NVNAD 常務理事の寺本弘伸さんは「このような機会を通じて、四川大地震で被災された皆さんへの思いを寄せていただくいい場になったと思います。西宮でもぜひパンダタオルを広げていきたいと思っています」とのコメントをくださいました。



さんさんガーデンでの参加者



西宮市役所での参加者の皆さん



愛知淑徳大学での参加者の皆さん

## 【まめまめ四川】②四川って暑い？寒い？

四川省は複雑な地形と夏風の影響で、東と西の気候がまったく違います。東の盆地は四季がはっきりした亜熱帯気候で、年平均気温は 14～19℃。長江沿岸部では真夏の気温が 38 度以上にも。一方、今回の被災地が含まれる西部の高原は寒く乾燥していて、マイナス 36℃と観測されたところもあるそうです。(平岩)

## 事務局より

### ●作り手さん大募集!! 「パンダ作り教室」を開催!

2月4日(水) 10:00～12:00

2月12日(木) 17:30～19:30

2月25日(水) 10:00～12:00

※参加自由。パンダキット1セット100円で販売します。

場所: NPO 法人レスキューストックヤード事務所

(地下鉄東山線「本山駅」下車2番出口から徒歩2分)

### ●「パンダ教室」をイベントにゆんでください!

四川大地震写真パネルの貸し出しやパンダづくり講師を派遣します。(パネル貸出無料。講師交通費はご負担下さい)

### ●パンダタオルプロジェクト募金にご協力下さい。

パンダタオルを作成・送付するためには必要経費として材料費や郵送料等が必要です。活動資金のご協力をお願いします。

[お振込み先] 郵便振替: 00800-3-126026

加入者: 特定非営利活動法人レスキューストックヤード

※通信欄に「中国四川大震災支援」と明記してください